

# 施策 2 身近な緑の育成

主管部長(課) 土木部長(水辺と緑の課)  
 関係部長(課) 土木部長(道路課)、教育委員会  
 事務局次長(学校施設課)

## 1 施策が目指す江東区の姿

区民の緑に対する愛着と、緑を守り育てる心が育まれ、緑の中の都市「CITY IN THE GREEN」が実現されています。

## 2 施策を実現するための取り組み

公共施設の緑化	地域が一体となって、公園や、小学校にある校庭の芝生化を推進します。また、公共施設での屋上緑化や壁面緑化を進めます。
歩行者が快適さを感じる道路緑化	街路樹を増やすとともに、シンボリックな並木道等を整備します。また、地域と連携して街路樹の維持管理を行います。
区民・事業者・区による緑化推進	区民・事業者に対する緑化指導を推進するとともに、屋上(壁面)緑化と生垣に対する助成制度の充実と普及を図ります。さらに、歴史・文化を伝える緑の保全・再生を行います。

## 3 - 1 施策に影響を及ぼす環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>公園や小学校の芝生化が始まる。</li> <li>H19.7「江東区みどりと自然の基本計画」策定</li> <li>H21.10「江東区みどりの条例施行規則」改正</li> <li>H18.12「10年後の東京の姿」で街路樹倍増を掲げる。</li> <li>H19.6「緑の東京10年プロジェクト」策定。(東京都)</li> <li>H20年度東京都第五建設事務所と本区で街路樹充実連絡会設置</li> <li>H22.7「江東区内における街路樹充実計画」策定</li> <li>H23年度CIG( )ビジョン及び実施計画策定(予定)</li> <li>CIG: CITY IN THE GREENの略</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設や緑化指導、助成制度による緑が増加し、街路樹や土地の歴史・文化を伝えるみどりが連携してみどりの街並が形成される。</li> <li>沿線の土地利用や区民生活と調和した緑の増量</li> <li>植栽水準のレベルアップ</li> <li>都と連携し都区道「みどりのネットワーク」の形成</li> <li>様々な主体が参画・協働するみどりづくりが進む。</li> </ul>

## 3 - 2 施策に関する区民要望・ニーズの変化

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>生活に身近な緑や大きな樹木、学校の緑の増加を望む声が多い。</li> <li>道路に、ふれあい・やすらぎを求める区民ニーズが広がる。</li> <li>道路に木陰や緑花を求める声の増加</li> <li>環境、エコへのライフスタイルの変化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路沿いや公共施設などの緑が育ち、身近な緑との主体的な関わりを区民自らが主体となり、緑の維持管理に協働して取り組んでいく。</li> <li>街路樹に対する関心の高まり、適切な街路樹の維持管理が求められる。</li> <li>CIGビジョン及び実施計画に基づく新たな事業を展開する。</li> </ul>

## 3 - 3 国・都などの方針・基準等に基づき実施するため区の権限が限定的な事業

<p>（この欄は空欄です）</p>
-------------------

4 施策実現に関する指標		単位	現状値 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 26年度	指標 担当課
6	緑被率	%	16.68 (17年度)						18.77	水辺と 緑の課
7	区立施設における新たな緑化面積	m <sup>2</sup>		2,341						水辺と 緑の課
8	街路樹本数	本	8,998 (20年度)	9,619					13,500	道路課
9	区民・事業者による新たな緑化面積	m <sup>2</sup>		41,142						水辺と 緑の課

5 施策コストの状況					
	22年度予算	22年度決算	23年度予算	24年度予算	
トータルコスト	254,895千円	240,064千円	296,036千円		
事業費	193,057千円	183,155千円	230,614千円		
人件費	61,838千円	56,909千円	65,422千円		

6 一次評価 主管部長による評価	
(1) 施策における現状と課題	
<p>平成23年度CIG事業は、河川護岸や道路の隙間などの公共施設緑化を手始めにスタートした。今後CIGの実現に当たっては、区民・事業者・区による連携・協働が不可欠である。そのため、区民が緑の豊かさを実感できるCIGの実現が求められ、区民が主体的に緑化を進める仕組みを作る必要がある。校庭芝生化については平成19年度より取り組み、小学校11校、中学校1校で実施した。校庭の芝生化を維持していくには、効果的な芝生の補修方法などの専門知識が必要であるとともに、地域の協力が不可欠である。養生期間中の校庭の利用制限により、学校運営に支障が起きないようにすることが課題である。</p>	
(2) 今後5年間の施策の取り組みの方向性	
<p>平成23年度策定予定のCIGビジョン及び実施計画に基づき、民有地・公有地緑化の新たな制度や仕組みを作る。既存の緑化事業に加え、CIG関連事業を推進し、みどりを介したコミュニティ形成や区民が参画したみどりのまちづくりができるように様々な誘導策を実施する。そのなかで、民有地緑化を推進するために新たな助成制度や顕彰制度の導入を検討し、民有地緑化の推進にインセンティブを与える。校庭芝生化については、各学校の諸条件を勘案しながら、芝生の生育に適した範囲等の整備内容を決定し、推進していく。また、新築・改築する校舎等については、屋上・壁面緑化も検討し進めていく。</p>	

# 施策 3 地域からの環境保全

主管部長(課) 環境清掃部長(温暖化対策課)  
 関係部長(課) 環境清掃部長(環境保全課、清掃リサイクル課)

## 1 施策が目指す江東区の姿

区民一人一人が環境保全を意識した取り組みを行っています。また、区民・事業者・区が連携し、地域が一体となって、快適な環境を実現しています。

## 2 施策を実現するための取り組み

環境意識の向上	区民に対し、環境問題に関する啓発や情報発信を行います。また、区独自のエコポイント制度の導入や環境家計簿の普及に取り組みます。
計画的な環境保全の推進	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )削減量の具体的な数値目標を掲げる等、地球温暖化対策に重点を置いた環境基本計画を策定します。また、計画の実現に向けて、区民・事業者・区がともに二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )の削減に取り組みます。
公害等環境汚染の防止	区民・事業者に対して公害防止のための必要な調査・指導・助成を行います。

## 3 - 1 施策に影響を及ぼす環境変化(法改正・規制緩和・社会状況等)

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<p>平成21年4月「改正省エネ法(エネルギー使用の合理化に関する法律)」及び「改正温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)」施行 平成21年4月「東京都環境確保条例」に基づく、都内大規模事業所を対象とした「温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度」の導入 平成22年3月新たな「江東区環境基本計画」及び「KOTO低炭素プラン(江東区地球温暖化対策実行計画)」策定 平成22年4月から土壤汚染対策法が改正施行され、土壤汚染対策が強化された。微小粒子状浮遊物質に関する大気環境基準が設定され、対策が求められることとなった。COP15(2009年)において、日本の温室効果ガス削減目標を25%とする方針が示された。震災により、温暖化対策を困難視する動きもあるが、依然、温暖化対策は重要な課題である。</p>	<p>IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の科学的知見などによれば、地球温暖化は現に進行しており、このまま放置した場合には、私たちの生活に深刻な影響を及ぼすことが予測される。大気、水質、土壤汚染等の環境保全対策がますます重要課題となり、環境保全行政を行ううえで区の役割が増大する。引き続き地球温暖化防止の視点での取り組みが必要になるとともに、エネルギー政策の転換が求められる。</p>

## 3 - 2 施策に関する区民要望・ニーズの変化

5年前から現在まで	今後5年間の予測(このままだとどうなるか)
<p>半数近くの区民が、環境に配慮した行動に取り組んでいる(H22年度区民アンケート調査)。本区人口の増加や生活様式の多様化に伴い、快適な大気、水環境等を求める区民要望が増加している。とくに土壤汚染に関する区民要望が増加している。これまでの温暖化対策の推進に加え、再生可能エネルギーの活用と電力に依存したライフスタイルの転換を図る必要がある。区民・事業者・区が一丸となって電気事業法第27条に基づくピーク時間帯の使用最大電力の15%削減に向けて取り組まなければならない。</p>	<p>区民の環境に対する意識の高まりとともに、区民や事業者への環境情報の提供が、これまで以上に求められてくる。江東区域のCO<sub>2</sub>排出量は、産業部門からの排出量が減少する一方で、業務(オフィスビル等)・家庭・運輸部門では増加傾向にある。今後も臨海部を中心としたマンション開発による人口・世帯数の増加、商業施設・オフィスビル等の増加が見込まれることから、CO<sub>2</sub>排出量の大幅な増加が予想される。よりよい快適環境やあらたな環境問題への対応を求める区民要望は今後も増大する。現在、区民・事業者・区の各主体が実施している環境負荷の低減の取り組みに加え、節電への取り組みを今後も継続していくことが必要である。</p>

## 3 - 3 国・都などの方針・基準等に基づき実施するため区の権限が限定的な事業

--

4 施策実現に関する指標		単位	現状値 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標値 26年度	指標 担当課
10	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合	%	51.7	49.1					60	温暖化対策課
11	環境学習情報館「えこっくる江東」利用者数	人	22,404 (20年度)	31,385					27,000	温暖化対策課
12	江東区の二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )削減量の目標値を知っている区民の割合	%		15.7					50	温暖化対策課
13	大気環境基準達成割合(二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ))	%	100 (20年度)	100					100	環境保全課
	大気環境基準達成割合(浮遊粒子状物質(SPM))	%	100 (20年度)	100					100	環境保全課
14	河川水質(BOD)の環境基準達成割合	%	100 (20年度)	100					100	環境保全課
15	道路交通騒音の環境基準達成割合(昼間)	%	65 (20年度)	68					80	環境保全課
	道路交通騒音の環境基準達成割合(夜間)	%	40 (20年度)	42					60	環境保全課

5 施策コストの状況				
	22年度予算	22年度決算(速報値)	23年度予算	24年度予算
トータルコスト	275,077千円	250,365千円	236,969千円	
事業費	64,850千円	56,891千円	70,510千円	
人件費	210,227千円	193,474千円	166,459千円	

6 一次評価 主管部長による評価	
(1) 施策における現状と課題	
<p>区民や事業者が、環境問題に関する基本的な知識を習得して情報の共有化を図るためには、区民各層を対象とした環境教育プログラムを作成して実施していくことが必要である。区民や事業者の環境保全活動の促進には、各主体がそれぞれの立場で活動に取り組むことはもとより、区民、事業者、区の三者が連携した取り組みを行うことがより効果的である。区民や事業者とのパートナーシップをさらに強化するため、地域協議会などの組織づくりも含めて、環境保全活動の促進を図る必要がある。環境保全への関心が高まる中で、環境問題を理解し、個々の生活において環境に配慮した行動に繋がる知識を得るための、環境情報の提供と環境学習の充実が求められている。大気環境については、光化学オキシダントの環境基準の早期達成、21年度に環境基準が設定された微小浮遊粒子状物質への対応が課題である。水環境については、快適な河川環境を求める要望が大きく、要望を実現することが課題である。国における、今後のエネルギー政策のあり方を注視しながら、環境基本計画の取り組みを加速させる必要がある。</p>	
(2) 今後5年間の施策の取り組みの方向性	
<p>区民がより簡単な方法で環境情報を入手できる仕組みをつくとともに、区民などからの環境情報を集積・共有化することで、環境情報提供を充実させ、区民・事業者の自発的な活動につなげられるようにする。多様化、複雑化する環境問題について、限られた予算と人員の中で効率的に対応する。区民、都、関係機関との連携を重視する。環境学習情報館「えこっくる江東」を拠点に、次世代層を対象とした体験型の環境学習の場・機会の提供などをはじめ、積極的に環境活動に取り組める人材の育成などに重点を置いて、一層の環境教育の拡充を進める。環境施策の目標達成に向けた具体的な行動を企画、立案、実行する場として、区民・事業者・区による「江東エコライフ協議会」を運営する。再生可能エネルギーや高効率な設備機器の導入、設備機器の効率的運用など、今後の省エネ継続につながる施策を推進する。</p>	

# 外部評価シート

施策番号	2	施策名	身近な緑の育成
担当班	1	委員名	

施策の目標に対して、成果は上がっているか

--

区民ニーズ・社会状況に対応した取り組みを展開しているか

--

区民との協働、国・都・民間団体等との役割分担は適切か

--

施策の総合評価(今後の方向性)

--

その他 (改善点等)	
---------------	--

# 外部評価シート

施策番号	3	施策名	地域からの環境保全
担当班	1	委員名	

施策の目標に対して、成果は上がっているか

--

区民ニーズ・社会状況に対応した取り組みを展開しているか

--

区民との協働、国・都・民間団体等との役割分担は適切か

--

施策の総合評価(今後の方向性)

--

その他 (改善点等)	
---------------	--